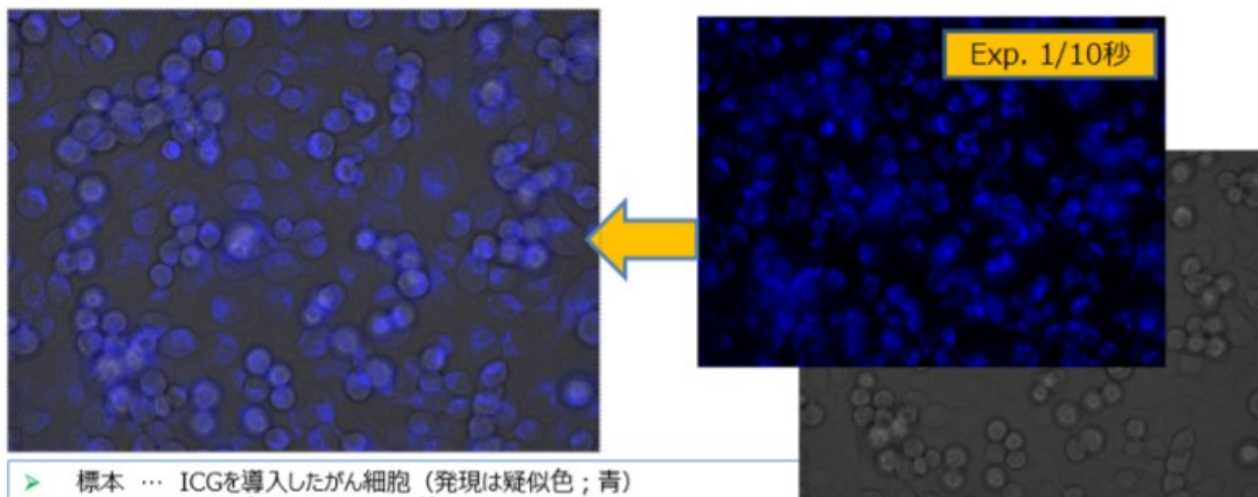


超長波長用フィルターキューブ (R8年4月より利用可) の使用例

ICG (インドシアニンググリーン) 光源、カメラとも現行の BZ-X710 と同等品を使用

Far-Red 生細胞観察 ～ICG～



➤ 標本 … ICGを導入したがん細胞 (発現は疑似色; 青)
ガラスボトムディッシュに生着させたもの

➤ 従来のモノクロ冷却CCDでは、露光時間30秒～60秒かかっていたため、
あらかじめICG発現があると分かっている場所の撮影を行ってきた。
BZ-X700では1/10秒露光にてオートフォーカスできるため、近赤外波長による可視スクリーニングが可能となり、
業務効率が向上。

Cy7 光源は高輝度 LED を使用、カメラは現行の BZ-X710 と同等品を使用

観察サンプル マウスの脾臓

観察倍率 40倍

Cy7

GFP

